



ダカエデ，チドリノキ，草本層はナガバモミジイチゴ，ヒヨドリバナ，キヨタキシダ，シケシダ，ジュウモンジシダ，ヤマジオウ，シシガシラ，ミゾシダ，ツタ，イノデモドキ，フタリシズカ等の生育が見られた。概観としては，高木層はウリハダカエデが優占し，チドリノキが混生していた。亜高木層にはカナクギノキ，ヤマボウシが，低木層にはタンナサワフタギ，シキミ等が目立ち，草本層はナガバモミジイチゴ，ジュウモンジシダ等が見られた。岩屋川の源流部であり，水量は少ないが，伏流水がしみ出している箇所が見られた。

#### 証拠標本

鹿児島県肝付町 甫与志岳 標高895m 2019年5月2日 久保紘史郎（鹿児島県立博物館：20190108, 20190109）

#### 引用文献

初島住彦(2004)九州植物目録, pp343. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島県.  
鹿児島県(2016)改訂・鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物 植物編 -鹿児島県レッドデータブッカー-, 499pp. 鹿児島県環境技術協会, 鹿児島県.